

人件費の大幅削減反対!

九月十六日、府当局は府労組連に対し、「大阪版公務員制度改革及び人件費削減の取り組みについて」を提案しました。

○現給保障の廃止
○給料及び期末・勤勉手当の削減(平成23年度から3年間)

これによって受ける影響

45歳教諭

給料カット

28164円(月額)

337968円(年額)

期末・勤勉手当

74882円

カット合計

412850円(年額)

45歳主査

給料カット

27855円(月額)

334260円(年額)

期末・勤勉手当カット

74062円

カット合計

408322円(年額)

人件費のカットで

府財政はよくなるらない

『三年間』財政再建プログラムに基づく大幅な人件費の削減が行われてきました。

しかし、そのことによって府民の暮らしも府財政も好転しませんでした。

府職員の人件費カットは、民間労働者にも大きな影響を及ぼし、低迷する大阪経済に追い討ちをかけるものとなっています。国家公務員の給与水準を

全国的に見ても低い
大阪の公務員賃金

100とした場合の地方公務員の給与水準を示す指数がラスパイレース指数です。

平成20年度の大阪の指数は98.5で全国30位でした。平成21年度は全国平均98.7に対し、大阪は92.2です。

これほど低い賃金水準であるにもかかわらず更にカットを続けることは到底受け入れられません。

10・21府労組連

学習決起集会

日時 10月21日(木)

18時45分

場所 クレオ大阪中央



2010年10月6日
NO. 457

〒561-0874

豊中市長興寺南3-5-2

TEL (06) 6865-3190 FAX (06) 6865-3191

Eメール zenkyo-toyonaka@tcct.zaq.ne.jp

Webページ

<http://www.tcct.zaq.ne.jp/zenkyo-toyonaka/>

とよなか

全教豊中教職員組合

教員免許更新制はただちに廃止を

署名にご協力ください

文科省は、九月一六日に、「教員免許更新制の在り方

については、・・・一定の結論が得られ、これに基づく法律改正が行われるまでの間は、現行制度が有効です。」とし、来年三月三十一日に修了確認期限が来る人に対して、「講習を受け、修了確認の申請を行うよう改めて通達を出しました。

二年目を迎えた更新制

民主党政権の「教員免許制度の抜本的見直し」という公約で、マスコミは「制度廃止」と報道しました。そのため「どうせなくなる」という空気が広がり、私立大学を中心に更新講習の開設を取りやめる大学が続出。大幅な講座数不足の状況です。また講習対象者が受講

申し込みをしていないという状況も生まれています。

制度として

成り立たない更新制

教員免許更新制は、一〇年に一度の更新講習をすべて教員の自己責任・自己負担にゆだねる一方、大学等には更新講習の義務はなく、制度運用の責任も、誰にもないので。

およそ、制度として成り立たない「更新制」ですが、このままいけば、免許執行による失職や未受講による早期退職も起こりうる心配があります。

廃止しかない制度

今夏の参院選の結果、ねじれ国会となり、仮に民主党政府が、衆院で「廃止」という法案を出したとしても、参院で否決される見込みが高くなりました。

また、もともと民主党は、「免許制度の見直し」を「教員養成制度の見直し」と連動させて提案しているために、免許更新制の見直しに時間がかかることが予想されます。

全教は、「免許更新制」を教員養成と切り離して廃止し、その後、「教員養成・免許制度」の見直し・検討を行うべきだと考えています。

そのため、今「教員免許更新制はただちに廃止を」の署名に取り組んでいます。

国民的議論で「教員養成・免許制度」の検討を

「教員養成・免許制度」

は、教育の根幹にかかわる課題です。現場教員の声はもちろん、教員を目指す学生、保護者など幅広い国民の議論によつて時間をかけて行うことが求められます。



子どもたちに表現のよろこびと

書く力・生きる希望を

国語・作文講座

教師という仕事も

すてきだな

9月11日、福祉会館で土佐いく子さんの作文講座を開催。60名近い参加がありました。

熱心な感想が多数寄せられましたので、紹介させていただきます。

すが、早く、心がけることがくせになるくらい先生として成長したいです。」

(箕輪小)

書いたものは

生きている証

「自分のクラスの子たちの顔が次々と浮かんできました。『書いたものは生きてる証』ということも、とても心に響きました。」

(池田・池田小)

「『何を大事にして時間を使うか』という言葉にとっても考えさせられました。『指導しようと思うとしんどい。一人の人間として向かい合う』ということでも少し肩が軽くなったように思いました。」

(箕面・西小)

「作文の添削について、

『自分の素直な気持ちを書いたらいいんだよ』と聞いて

たおかげで、少し気持ちが軽くなりました。」

(箕面・西小)

『まずは作文を読んで聴かせる』コップに水がたまって最後にあふれるように国語の力もついていくのではないかと思いました。」

(池田・呉服小)

「書きたいことがわかったら書ける、信じて待つことが大切。」

(上野小)



第一九回平和のための豊中戦争展

九月一日・一九日中央公民館で開催された「とよなか戦争展」には、二日間で四五〇人を超える市民が訪れました。

証言者コーナー

小学生の時に長崎の原爆を見た体験・九州大学での捕虜の生体解剖の話・ニューヨークで開かれたNPT核削減再検討会議に参加した報告・「ひめゆり部隊」の一員で命は取り留めたものの負傷した体験など、四人の方の貴重なお話を聞きしました。どの証言者のお話も、時間が許せば、もっと聞きたい思いでした。

五〇人収容の部屋に椅子が足りなくなるほどの参加で、親子づれも目立ちました。

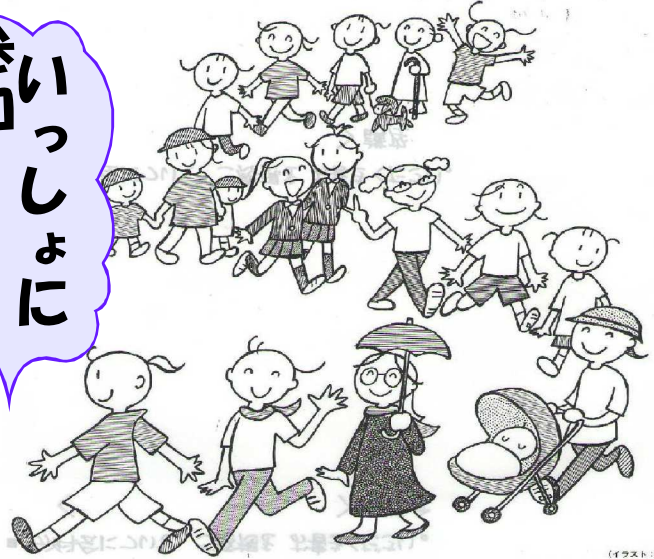
展示コーナー

今年、沖縄戦と基地問題の展示がされ、普天間基地をはじめ、日米安保条約によっていまだに県民に大きな犠牲を強いている様子がわかりました。

一方で、豊中でも活動が広がっている「九条の会」など、市民による平和運動も紹介されていました。また、市内の小学校による平和学習の取り組みも展示されていました。



いっしょに
参加
しませんか



2010年10月9日(土)・10日(日)

全日本教職員組合女性部 現地実行委員会

連絡先：〒102-0064 東京都千代田区二番町12-1 全国教育文化会館3階
TEL.03-5211-0123 FAX.03-5211-0124

全国の女性教職員が集まる元気の出る集会!

9日(土) エルおおさか 13時~17時

構成劇 「あしたも学校へいきたいな」

記念講演 「核兵器廃絶と平和教育」 安齋育郎さん

(国際平和ミュージアム名誉館長)

10日(日) ホテルアウイーナ大阪 分科会・基礎講座